

特集
変化を続ける
ミャンマーのこれから



『シャンティ』 通巻292号 2017年10月1日発行 (1・4・7・10月の1日発行) 1985年6月28日 第三種郵便物承認

巻末
言

道



難民の人々のそばに立つということ

シャンティ国際ボランティア会 常務理事
近畿大学国際学部教授 秦辰也

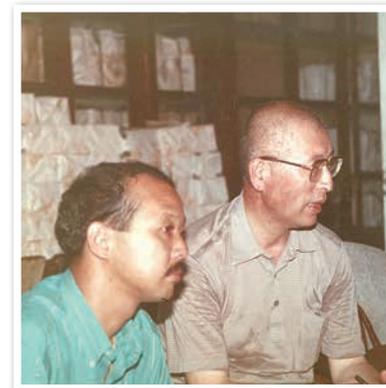
1984年にシャンティに入職してから20年余り、タイ、ラオス、カンボジア、北朝鮮など、幸運にも松永さんとは何度も活動現場に同行させてもらった。松永さんは、仏教や曹洞宗の知識が浅い私にとっても分かりやすい言葉で教えを説き、有馬実成さんとの出会いやシャンティを設立した経緯、活動の意義について丁寧に語ってくれた。

松永さんは、ブラジルやハワイ、ロサンゼルスに長く滞在した経験があり、行く先々で出会った人に臆することなく英語でシャンティのことを紹介した。実践に裏打ちされたその姿は日本人スタッフばかりでなく海外のスタッフにとっても大変誇らしく、シャンティの精神的支柱としても大きな存在であった。

シャンティの原点を語る時、松永さんは活動初期のある晩、カンボジア難民キャンプで出会った年配の人のことをよく話してくれた。松永さんはあいさつを頼まれたものの、あまりの状況の厳しさにどうしようかと戸惑っていた。そして正直に「何をしたら良いのか分からない」と返事をしたという。するとその人はこう答えた。「何もしてくれなくていい。今、あなたは私の隣にいる。私たちに友人がいるんだ、と知らせてくれただけ

で大きな安らぎと励ましになった。今夜は、とてもうれしい」。その一言に松永さんは、完全に打ちめされたという。「迷いを捨てきれない己に対する甘さに冷水を頭からかぶせられた思いがした。ショック以外の何物でもなかった」と。

「国際協力」と言うと、つい上から物事を見てしまい、専門的な立場を意識して成果を出すことに囚われる。そして気づかぬうちに対象者や受益者といった感覚で相手と接してしまい、こちらの論理だけで勝手に状況判断をしようとする。今苦しんでいる人々のそばに立つとはどういうことなのか、松永さんは自ら常に原点に立ち返り、そのことを私たちに問いかけていたように思う。



筆者(左)と故・松永然道老師(右)

「アジア最後のフロンティア」として世界中から
熱い視線を集めるミャンマー。
経済発展が進む一方、取り残される貧困層や
難民の帰還問題、多様な民族との共存など
の課題を抱えています。学校の多くは老朽化
し、児童書も非常に少ない状態です。学校に
通っていない小学校就学年齢人口は58万人以
上といわれています。
そんなミャンマーに、シャンティは2014
年に事務所を開設し、図書館活動や児童図書
出版、教育改善に取り組んできました。これ
までの道のりは決して平坦ではありませんで
した。ミャンマーで取り組んできた4年間の
活動をご紹介します。



Shanti vol.292 CONTENTS

- 4 特集
変化を続ける
ミャンマーのこれから
- 12 シャンティな人たち (番外編)
▶東京事務所スタッフ
▶役員
- 18 世界の絵本を読んでみよう
「あの時のメイロン」(ミャンマー2014年出版絵本)
- 20 遺贈者の声
角田 邦弘様
- 21 世界の現場からAIRMAIL
From 活動の現場
▶ミャンマー事務所
▶ネパール事務所
- 30 SHANTI HISTORY 2014年 ―新たな挑戦の年―
31 お知らせ／編集後記
32 道「難民の人々のそばに立つということ」
常務理事 近畿大学国際学部教授 秦 辰也



今号の表紙
ミャンマー ビー県の寺院学校にて。
2015年撮影
©Yoshifumi Kawabata



変化を続ける ミャンマーのこれから

特集

ミャンマーの 政治と経済の変動

2011年に半世紀以上続いた「軍事支配」に終止符が打たれ民政移管され、2016年3月30日からアウンサンスーチー国家顧問が率いる国民民主連盟（NLD）の新政権が誕生して1年以上が過ぎました。

NLDに対する国民の支援は根強いものの、イスラム教徒で少数民族のロヒンギャ迫害問題では国際的な批判を浴び、新政

権が最優先課題としていた少数民族との和平やタイ・ミャンマー国境の難民キャンプからの難民帰還のめどが立っていません。

ミャンマー最大の都市ヤンゴンには急激な経済発展を遂げつつありますが、大都市の富裕層と貧困層との格差は開くばかり。人口の約7割が住む地方の農村は発展から取り残されています。農民の約半数が土地なし農民のため、仕事を求め隣国タイへ約300万人が移民労働者として国境を越えています。

■ ミャンマーの歴史

- 1886年 イギリスとの3度の戦争に敗れ、植民地化。
- 1948年 ビルマ連邦共和国としてイギリスから独立。
- 1962年 軍事クーデターにより軍事政権に。
- 1988年 市民による大規模民主化運動が起こったが鎮圧。
- 1989年 国名をビルマからミャンマーへ変更。その後2010年まで民主化運動の弾圧と、少数民族との武力抗争が繰り返される。
- 2010年 2008年の国民投票によってつくられた新憲法に基づき総選挙を実施。
- 2011年 ティン・セイン大統領就任。軍事政権から民政に移行。
- 2015年 民政復帰後初の総選挙でアウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟（NLD）が圧勝。
- 2016年 NLDの新政権が発足。



ヤンゴン市内



農村部

今、なぜミャンマーで 教育支援が必要か

国民一人当たりGDPがASEANで最下位のミャンマー。初等教育就学率の全国平均は86%、修了率74%、中等教育就学率は64%に留まっています。親の貧困により教育の機会が奪われていることが深刻な問題です。

新政権下で教育分野も改革が進む一方、予算不足や学校の教室不足、教員の質の問題など、課題が山積みです。長い軍事政

権下、暗記主義になりがちな知識偏重型教育が行われ、地方の小学校の大半に図書室はなく、古くなった本が置かれたスペースがある程度です。本を通して楽しく学ぶ環境があるとは言えません。

SDGs（持続可能な開発目標）の17あるターゲットの一つ「全ての子どもが効果的な学習効果をもたらし質の高い初等及び中等教育まで修了」の目標達成は、極めて困難な状況であると言えます。



「図書館」

バゴー地域ピー県とタヤワディ県の公共図書館に児童スペースを設置して読み聞かせや文化活動、公共図書館に通えない子どもたち向けの移動図書館活動などを実施しています。

2014年
12月

ピー県の公共図書館 6 館に児童スペース設置。設置前に日本の専門家による図書館基礎研修会を実施。情報局職員および図書館員16人が参加。

2015年
2月

ピー県の公共図書館 6 館にて三輪バイクによる移動図書館活動を開始。

2015年
10月

タヤワディ県の公共図書館 8 館に児童スペース設置。設置前に日本の専門家による図書館基礎研修会を実施。情報局職員および図書館員 21人が参加。ピー県の公共図書館 6 館に対して実技研修会を実施。

2016年
1月

タヤワディ県の公共図書館 8 館にて三輪バイクによる移動図書館活動を開始。

2016年
8月

ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所のセラー副所長を講師に招き、ピー県およびタヤワディ県の14 図書館、37人に対し実技研修会を実施。

三輪バイクによる移動図書館活動では、「もっと頻繁に来てもらえないでしょうか。喜んで子どもたちの姿をまた見たいです」と教員からの声がありました。



スタッフ
インタビュー



トータさん
図書館、コミュニティー ラーニング
センター（CLC）事業担当

絵本による読み聞かせ活動はミャンマーでは初の試みで、スタッフや図書館員にとって理解し技術を身に付けることは大変な挑戦でした。ですが、日本の専門家による研修会や日々の活動を通じて少しずつ変化してきました。何より絵本を見る子どもたちの笑顔や目の輝きに触れ、絵本の大切さを実感してきたのだと思います。

図書館活動の芽がやっと出てきました。次の目標はこの芽を育て、ミャンマー全国に活動の芽をまいていくことです。絵本は子どもたちに夢と希望を与えてくれます。



ミャンマー 事務所開設から 4年間の軌跡

2014年3月末、一年

で最も暑い季節、汗だくになりながら事務所として借りた家屋を修繕したり、備品を調達するためピーとヤンゴンを往復してました。ピーでは調達できず、ヤンゴンで注文しなければならぬ物が多く、各店舗で値段や受取時期の確認をしながら一つずつ物をそろえていく日々でした。物が納期に届かなかつたり、発注内容と違っていたり、毎日のようにトラブルが発生してました。「これはこの国の人たちの習慣です」と

ミャンマー事務所長の中原亜紀です。
2014年3月末に開設した
ミャンマー事務所のこれまでの
をご紹介します。



ミャンマー事務所長
中原亜紀

を思い出します。

事務所の開設だけでなく、事業面でも不安に感じることはありません。2月までに絵本コンクルの募集要項を完成させなければならなかったのに、全く手が付けられていないことが分かりました。そして「大丈夫、すぐにやりますから」と笑顔で言われ、ミャンマーを理解するには相当

笑顔で言われたとき「これからミャンマーで事業を行っていきけるのか」と不安を募らせていたこと

の時間を要すると直感しました。ミャンマー人スタッフたちも経験がない中での活動であったため、試行錯誤の毎日でした。ミャンマー人は信頼関係をとても重要視するため、シャンティという団体や活動を理解してもらうまで時間がかかりました。決して幸先の良いスタートとは言えませんが、4年間で良好な関係が構築されてきたと感じています。続いてはミャンマー事務所開設後に取り組んできた図書館、児童図書出版、教育改善の取り組みをご紹介します。





「教育改善事業」 寺院学校建設、 ノンフォーマル教育

無償で教育機会を提供している寺院学校の校舎改築や学校に通っていない子どもたちへコミュニケーションや対人関係、保健衛生に関するライフスキル教育などを提供しています。

寺院学校建設

- 2014年 孤児院1、寺院学校2校を建設(生徒数438人)
- 2015年 寺院学校3校を建設(生徒数571人)
- 2016年 寺院学校3校を建設(生徒数1,111人)
- 2017年 寺院学校4校を建設予定(生徒数555人)

老朽化した建物が新校舎として生まれ変わった時「新校舎で勉強できて本当にうれしいです。もっと勉強して必ず試験に合格します」と4年生の男の子が満面の笑みで話してくれました。



ノンフォーマル教育

- 2014年6月 ノンフォーマル小学校 33人
- 2015年5月 ライフスキル教育 115人
- コミュニティラーニングセンター利用者約500人
- 2015年6月 ノンフォーマル小学校 34人
- 2016年5月 ライフスキル教育 115人
- コミュニティラーニングセンター利用者約1,020人
- 2016年6月 ノンフォーマル小学校 31人
- 2017年5月 ライフスキル教育 80人

寺院学校やノンフォーマル教育のおかげで、孤児や貧困が理由で公立の学校に通えない子どもたちをはじめ、すべての子どもたちが教育を受けられるようになりました。寺院学校は僧侶である校長先生を中心に地域と連携して運営されています。校舎建設支援により更に多くの子どもを受け入れることができました。ノンフォーマル教育支援では退学した子どもたちも再び学ぶことができるようになりました。ミャンマーでは教育改革が進んでいますが、対象地域の教育局と協力し、今後の建設事業の運営強化や質の向上を目指していきたいです。



コ・ミヨさん
教育改善事業担当

スタッフインタビュー

「児童図書出版」

ミャンマー作家協会と絵本コンクールを共催し、入賞作品を児童図書として出版。児童図書出版に関わる作家、イラストレーター、編集者を対象に日本から専門家を招いて児童図書出版研修会も実施しています。



- 2014年8月 1年目の絵本コンクールのテーマは「家族」。3タイトル、19,200冊(1タイトルにつき6,400冊)を出版。
- 2015年3月 1回目の児童図書出版研修。テーマは「創作絵本」。24人が参加。
- 2015年8月 2年目の絵本コンクールのテーマは「友情」。6タイトル(1タイトルは紙芝居)、32,100冊を出版。
- 2016年3月 2回目の児童図書出版研修。テーマは「紙芝居」。20人が参加。
- 2016年8月 3年目の絵本コンクールのテーマは「平和」。5タイトル、32,000冊を出版。
- 2017年3月 3回目の児童図書出版研修。テーマは「科学紙芝居」。20人が参加。
- 現在 4年目の絵本コンクールのテーマは「環境」。3タイトル、19,200冊と、紙芝居1タイトル、200冊を出版する予定。

公共図書館の児童スペースや移動図書館には日本やタイから届いた絵本が配架・活用され、ミャンマー人が作った絵本も子どもたちに人気です。ミャンマーの文化が盛り込まれているからでしょう。

絵本コンクールや日本の専門家を招いた児童図書出版研修会などによって、出版する児童図書の質が年々良くなっていると感じます。また、行政と協力して、出版した図書をミャンマーの各県・各郡の図書館に配布することもできました。ミャンマーの子どもたちが知識や創造力を育むための良質な図書を出版することができたと思います。私たちの図書出版事業は徐々に成果を上げてきています。これからもっと多くの児童図書を出版して、ミャンマーのすべての図書館や学校に届けたいです。関係者の皆さんと手を取り合い児童図書の出版が発展するよう頑張ります。



ヤンナイ
出版事業・図書購入担当

スタッフインタビュー

「ありがと」 ミャンマーのみんなから

○図書館に通う子ども
アイェ・チャン・トゥ 小学4年生(10歳)
ビー県シュウェダン郡図書館

私の家や学校には絵本がないので、初めて図書館に来てたくさん絵本が置いてあるのを見たとき、とてもうれしかったです。私のお気に入りの本は、日本から届いた『ゆきむすめ』です。この本の物語が大好きです。



○寺院学校校長
ジャネンダ僧侶 (57歳)
ビー県ビー郡ズインチャントウン寺院学校

新校舎が完成し、寺院学校では数少ない高等教育の認可が下りたことで、就学前児童から高校生まで学校に通えるようになりました。頑丈な校舎と生徒たちの活気あふれる姿によって、地域住民からの厚い信頼を得ています。

○寺院学校の生徒
サン・サン・モウ 中学3年生(14歳)
ビー県ビー郡ミヤティンギ寺院学校

以前は柱と屋根だけの教室で授業を受けていましたが、雨漏りや蚊に刺されて大変でした。新校舎のおかげでその心配がなくなり、集中して授業を受けることができます。将来は医者になって、この学校の貧しい生徒たちの病気を治したいです。



○情報省職員
チ・チ・タン (48歳)
タヤワディ県タヤワディ郡IPRD事務所勤務

ただ本を置いてあるだけの図書館が、読み聞かせや図書館員研修などの支援によって一変しました。すべての人が知性と創造力を育む場として、図書館をミャンマー全国に広めて行きたいです。

ミャンマー 事務所としての これから

事務所を開設し、約3年半が経過しました。事務所立ち上げ、現地スタッフ雇用、事業開始など、目まぐるしい日々が続きましたが、早いもので新たな3カ年事業を迎えることとなりました。

事務所立ち上げで苦労したことは多々ありますが、何より大変だったのは職員の雇用でした。民政移管の流れの中で、ミャンマーで活動を行う援助機関が急増し、人材の確保が困難な状況が生まれました。ミャンマーには、苦しむ人々のために積極的に募金する文化が根強くあります。しかし、NGOをよく知らない人が多く、国連機関と同レベルで理解されがちです。そのため、NGO職員としての人材を求めようとすると、なかなか難しい状況がありました。

鎖国状態が長く続いたミャンマーではすべての分野において支援のニーズがあり、今、求められているのは人材育成です。和平に向けた協議が始まったものの、長く培われた歴史を真っ白にして再スタートすることは容易ではなく、新たな人材を迎え、国作りを行っていくことが重要になります。そのためには教育支援が必要です。

今後は3つのことを力を入れて取り

組んでいきます。①図書館活動を通じた読書推進を目指します。子どもたちが知識や技能を高めていけるよう図書館員や小学校教員と力を合わせていきます。②平和構築の実現を目指し、各民族の民話を基に絵本出版や伝統文化活動を行っていきます。③ミャンマー人スタッフを中心とした事業実施を目指し、他事務所や日本への研修機会を作り、自国での教育活動に長く貢献していく人材育成に力を入れていきます。

2015年からスタートした三輪バイクによる移動図書館活動。「もっと頻繁に来てもらえないでしょうか。喜んでくれる子どもたちの姿をまた見たいです」。三輪バイクで小学校を訪問した時の校長先生の一言でした。ミャンマーではほとんどの小学校に図書室はなく、公共図書館に通えない子どもたちは絵本に触れる機会は皆無です。何年先になるかわかりませんが、ミャンマー全国の小学校に図書室が作られ、移動図書館三輪バイクが全国を走り回り、子どもたちに絵本を届けることができる日を目指していきたいと思っています。

ミャンマー事務所長 中原 亜紀



市民農園で作っている野菜の育ち具合



やまだ たかこ
山田 貴子
広報

息子が生まれてはじめて口にする言葉(たぶん「ママ」かな〜)



めすだ やすひろ
召田 安宏
広報

東京オリンピックに向けて事務所周辺はどう変わる？



ひらしま ようこ
平島 容子
ATS・会員

本格タイ料理を短時間で自宅で作る方法



すずき あきこ
鈴木 晶子
課長

広報課

ヨガでリフレッシュすること



はなわ かおり
塙 香織
絵本を届ける運動

喫茶店、えんぴつ、デイヴィッド・ウィーズナーの本



きよはら えみこ
清原 笑子
絵本を届ける運動

志水辰夫、鳴海章などの時代小説にハマっています



かめたに みほこ
亀谷 美保子
絵本を届ける運動

わが家の大きなサボテンをどうやって植え替えるか



かわぐち なおこ
河口 尚子
絵本を届ける運動

やつれず健康的に減量する方法



のぐち さなえ
野口 早苗
絵本を届ける運動

未来。家族、子どもたちの未来。日本の未来、地球市民の未来です



せき ひさし
関 尚士
事務局長

環境問題、棚田の復元、山の復元、絶滅危惧種の保全、地域興し



おかもと わこう
岡本 和幸
専務理事

執行部

幕末から明治にかけての歴史。今の時代を読み解くヒントになる？



いちかわ ひとし
市川 斉
常務理事

シヤンティな人たち

番外編

スタッフ紹介

東京事務所に勤務するスタッフに「いま関心があること」を聞きました。

万人が分かる公益法人会計の予算 / 決算、そして消費税!?



ましかわたけし
吉川 剛
課長

もちろん、気候変動・地球温暖化、あとは野外で踊ること



くろさわ まりこ
黒澤 真理子
経理

男の子の生態について日々悩んでいます(男子三人の母のため)



いのまた さなえ
猪又 佐奈江
総務・経理

元気の出る食事の取り方とウェアラブル健康機器



こばやし たかひろ
小林 裕司
データ管理・IT

経理・総務課

事業サポート課

国内外はもちろんのこと、事務所内の防災・減災の拡充です



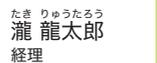
すずき あつこ
鈴木 淳子
国内緊急救援



やまもと えいきち
山本 栄吉
訪問者対応

通勤時間。朝は内田光子のモーツァルト。帰りは島倉千代子。

頑丈な体、折れない心、適度なお酒、3つあれば人生を謳歌できます



たき りゅうたろう
瀧 龍太郎
経理

2020年オリンピック時の自分と事務所界限と世の中がどうなるか



きむら まりこ
木村 万里子
課長補佐

「誰一人取り残さない」ために、わたしたちができること



やまもと えり
山本 英里
課長

ずっと気になっている"囲碁"ですが、なかなか始められないです



こながや ようこ
小長谷 陽子

入社してて、シャンティのすべてに関心があります！



くりはら はるき
栗原 陽紀
海外事業担当

遊びや体験を通じた教育活動に興味があります



あさぎ まりや
浅木 麻梨耶
海外事業担当

長時間の移動中にできる楽しみを探しています



たけうち かいと
竹内 海人
海外緊急救援

また音楽を始めた。昔やっていた合唱を再開しようかしら



まや ゆき
眞屋 友希
海外事業担当

クラフトエイド課

宇宙



かみだ ともえ
嘉味田 倫慧

増えすぎた手仕事の素敵な商品たちの使い道



さとう すみえ
佐藤 純恵

ナガ族(ミャンマー)の不思議な刺しゅう柄について



わたなべ ちひろ
渡辺 ちひろ

増えていくバッグの整理術



なかお のえ
中尾 乃絵

もっと自由に！もっとおもしろおかしく！それがいい



おかもと きよかず
岡本 喜代一
課長

お気に入りの海外ドラマの最新シーズンが早く見たい！



あらい まさよ
新井 雅代

手仕事で作られたものと、それを作っている人たち



やまむろ さとこ
山室 仁子

どうしたらシャンティのファンを増やせるか、動きながら考えてます



かみざき あいこ
神崎 愛子
課長

2020年の東京オリンピックですかね！楽しみです



わたなべ たまひと
渡邊 珠人

1ヵ月100kmランニング…頑張らないと。汗



ひび こうしょう
日比 洸紹

支援者 リレーションズ課

理事・監事が 選出されました

2017年3月25日に行った
定時社員総会において、
2017年4月から2019年3
月までの理事15人と、監事
2人が選出されました。



会長
若林 恭英
長野県・安曇寺 住職

平和は、唱えているだけでは実現しません。具体的な行動が必要です。より有効な教育支援は何かを考え、行動していきます。



副会長
神津 佳予子
有限会社クイアンドアイ
代表取締役社長

すべての子どもたちが、生きるってこんなに素晴らしいことなんだ！と実感できる世界になるように、微力ながら尽力いたします。



理事
下澤 嶽
静岡文化芸術大学文化政策学部
国際文化学科 教授

事務局スタッフの皆さんとしっかり議論をし、海外プロジェクトの新しい方向性を出すよう頑張っていきます。よろしくお願ひします。



理事
関 尚士
シャンティ国際ボランティア会
事務局長

子どもたちが夢を描き、若者たちが希望の灯をともし続けるなら、世界は必ず変わっていくことができます。その実現のために行動し続けるシャンティでありたいと思います。



理事
茅野 俊幸
長野県・瑞松寺 住職

今年3月の総会にて、専務理事を退任いたしました。しかし、シャンティの目指す道に終わりはなく、これからは現場と次世代をつなぐ役割を担っていかれたらと思います。



副会長
三部 義道
山形県・松林寺 住職

見知らぬ人の痛みを感じ、心が私たちにあります。その心を言葉にし、行動にする社会を広げていきましょう。



専務理事
岡本 和幸
千葉県・真光寺 住職

理事2期目の新米ですが、当会とのご縁は四半世紀を越えました。当会は時代を越え、現地の必要性に寄り添う集団として機能しています。現場の気持ちを大切に努力を積み重ねていきたいと思っています。



常務理事
市川 斉
シャンティ国際ボランティア会
常勤役員

子どもたちが学びを通じて自らの人生を切り拓いた時、すべての人が幸せに生き、争いのない社会が創造されると信じています。「本の力を、生きる力に」となる社会が実現するまで全力を尽くします。



理事
長倉シユタツフ牧子
株式会社FMBIRD
代表取締役社長

渡邊理事を通じてシャンティの活動を知ったのはおよそ2年前です。どうすれば現代人に理解と認知と参加を促せるのか、一緒に考えていけたらと思います。



理事
中村 紀子
東京都消費生活間実行委員会
事務局長

岩手の図書館ボランティアに行き、被災された方々の生活に触れたことは、忘れられない体験でした。人に寄り添い、言葉を大切にするシャンティの活動の良さを広めていけたらと思っています。



理事
八木澤 克昌
シャンティ国際ボランティア会
アジア地域タイレクター兼ミャンマー
（ビルマ）難民事業事務所所長

今年でシャンティに関わり36年目。気持ち新たにチャレンジ。「現場第一主義」を基本にアジアの現場から関わっていきたく願っています。



常務理事
秦 辰也
近畿大学国際学部 教授

SDGs目標①は、「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」こと。その根底には、「誰一人残さない」という基本方針があります。2030年までの達成に向けて、シャンティと共に努力したいと思います。



常務理事
早坂 文明
宮城県・徳本寺 住職

「元氣」という言葉が好きだ。自分の元気で他も元気にできれば本物だ。シャンティも35周年の実績にあぐらをかくことなく、自身をもっと元気にしよう。創成期のスタッフは誰もが、手がつけれないくらい元氣だったのだから。



理事
有馬 嗣朗
山口県・原江寺 住職

行には願いがなければならぬ。願いがあから行ずる。誰もが願う社会とは。その社会作りとは。シャンティはぎっと作ります。



常務理事
渡邊 智恵子
株式会社アバンティ
代表取締役

3期目を迎え、クラフトエイドをもっと広め、支援している国の女性たちの仕事を多くの人々に知ってもらいたいと思っています。



監事
野中 茂
野中公認会計士事務所
公認会計士

シャンティの取り組みに感銘を受け、監事として参画し2期目になりました。「公益」の名に恥じないようガバナンスとコンプライアンスに気を配って参りたいと思います。



監事
増田 和生
元自治労大阪府本部 特執

本の力を生きる力に。共に生き共に学ぶ。活動地の人々のエンパワーメントを信じ触媒を忘れず一振り返りながら前に進みます。



あの時のメイロン

1



昔あるところに一匹の犬を飼っている家族がいました。お姉ちゃんのニヌは誰よりも子犬のメイロンをかわいがっていました。

2

メイロンはニヌと弟がひろってきた子犬でした。お母さんは「すぐに母犬に返してあげなさい」と言いました。「違うの、お母さん！この子は他の子犬たちにいじめられていたの」。娘のお願いに負けて、お母さんは子犬を飼うことを許してくれました。



3



メイロンは元気いっぱい成長しました。ある日、数匹の犬たちがメイロンにかみつきました。大好きなメイロンを守るため、子どもたちは石を投げて戦いました。

4



時は流れ、メイロンは体の具合が悪くなりました。何日たっても、メイロンは良くなりません。ニヌはたまらず、家中に駆け込んで泣きました。

5

ニヌはメイロンと遊んでいる夢を見ました。やがてメイロンは地平線のかなたに走って消えてしまいました。ニヌはあわてて起き上がりましたが、メイロンの姿はどこにもありません。「メイロンどこにいるの？」



6

家の外から弟の声が聞こえ、あわてて駆けつけ、横たわるメイロンを抱き起こそうとしました。けれどもメイロンの体はすでに冷たくなっていました。

7

メイロンは死んでしまいました。メイロンの死からみんなは絆の大切さを深く知りました。ニヌの心の中に、今もメイロンは生きています。



おしまい

世界の現場から

AIRMAIL

To 日本の皆さん From 活動の現場

このページでは、
アジアの各国で活動する
シャンティの様子や
スタッフを紹介します。

From Myanmar

ミャンマー

急激に民主化が進んでいるミャンマーに事務所を開設して4年。様々な国への支援活動で培ってきた経験を生かした支援を行っています。



From Nepal

ネパール

2015年のネパール地震から緊急支援活動をスタートさせ、2017年に開設したネパール事務所。子どもたちが安心して学校で学べるよう、防災能力強化に取り組んでいます。



For the Children's future

遺した想いを
子どもたちの
未来へ

故人の遺志から、特定の団体へ遺産を寄付する「遺贈」。遺贈者の想いが、世界の子どもの教育支援に役立てられています。

Episode



遺贈者のお話 角田邦弘さん

「タイへの想い」

「余命数カ月なので、わずかな遺産を贈りたい」。角田邦弘さんからシャンティへ宛てたメールが届いたある日。私たちから一度お伺いしたい旨をお伝えしました。その1カ月後、「末期がんで、もうお会いできるかわからないから4月中に来てほしい」。との連絡があり、急いで病院に伺いました。モルヒネで24時間痛みを緩和されている状態の角田さん。短い時間でしたが、病室でお話をしました。

「タイには20回ほど行っているのですが、私にはもう先がない。少しはお役に立てればと思ひ、遺志を託せるNGOを探していたところ、シャンティのことを知りました。ここなら信用できると、わずかですが遺産を託すことを決めました。もうタイに行くことはできませんが、タイに暮らす子どもたちのためにお役にください。」角田さんはそう話し、手元にあるタイのお金の“パーツ”を手渡してくれました。タイへ特別な想いを持っていた角田さん。その想いを大切にしながら、タイ側にあるミャンマー（ビルマ）難民キャンプで子どもたちが読む絵本の出版と、図書館活動のために使わせていただきました。角田さんのご冥福を心よりお祈りしております。

Can be

遺贈によって叶うこと……

▶10万円あれば……（ラオスでの例）

本を読んだことのない子どもたちへ絵本200冊の出版が可能です。

▶100万円あれば……（アフガニスタンでの例）

2つの学校に図書室を作ることができます。

▶700万円あれば……（ミャンマーでの例）

安心して学べる学校1校を建てることができます。

Step

遺贈寄付の流れ

シャンティでは、
遺産・相続によるご寄付を受け付けています。

「遺贈」には、故人の遺志を受け継ぐものから、ご自身で生前に贈与いただくもの、お金や物品、香典やお花料での寄付など、様々なかたちがあります。

1. 遺贈のご意思をシャンティへお知らせいただく
2. 遺言の内容を実行する遺言執行者の決定
3. 遺言書の作成
4. 遺言執行者へのご逝去のお知らせ
5. 遺贈の手続きの開始
6. 財産の引き渡し

Hot Topics



① 新しくなった教科書

2016年4月に発足した新政権は、教育改革を進めています。JICA技術協力「初等教育カリキュラム改訂プロジェクト」を通じて2017年6月からはじまる新学期に、小学1年生へ新しい教科書が届けられました。カラー印刷でつい見入ってしまうほどの出来ばえです。

② 再び教育を受けられるように

小学校を修了できなかった子どもたちが夜間学校で再び教育を受けています。「夜間学校から子どもが帰ってくると、必ず私にその日学んだ部分の教科書を読んでくれます。この時間が一日の中で一番幸せです」と言ってくれる親がいました。



ミャンマー事務所長
中原 亜紀 なかはら あき

PROFILE

1998年入職。タイのバンコク事務所でスラム地域開発事業を担当、ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所長、東京事務所海外事業課長を経て、2014年3月から現職に至る。

身に付けることは容易ではなく、事業を開始したばかりのため、スタッフの育成を含めて全体としての課題はまだ多くあります。ですが図書館活動の反響はとても大きいと感じました。今後、ミャンマー全土に活動を広げていきたいと考えています。特に学校図書館、三輪バイクを活用した移動図書館活動に力を注いでいきたいですね。



From Myanmar

ミャンマー

ノンフォーマル教育、児童図書の出版、図書館の設置、寺院学校の支援を軸に活動中！

国内初の読み聞かせ活動を
ミャンマー全土へ広げたい

ミャンマーでは絵本による読み聞かせの文化がなく、図書館活動は国内初の試みでした。そのため現地スタッフが技術的特徴的です。

私は以前、タイで活動するNGOでボランティアスタッフをしていました。長期的にこういった仕事に関わりたいたいという意思が固まり、1998年にシャンティに入職しました。各国事務所での活動を経験した後、2014年3月のミャンマー事務所立ち上げから現地で活動しています。事務所のあるビーは、それほど大きい都市ではありませんが、ビルマ族以外のカレンやシャンといった少数民族を含めた多民族が集まり共存しているのが特徴的です。

多民族が共存する独特の
地域にあるミャンマー事務所

ビー事務所の中を
のぞき見！

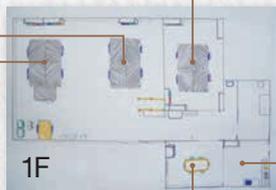
経理総務デスク



ミーティングルーム



学校建設担当デスク



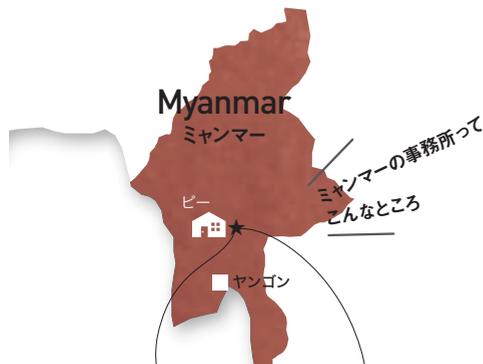
図書館担当デスク



ダイニング



キッチン



小川

名前のない小さな川ですが、散歩でよく立ち寄ります。川で水泳を楽しむ人もいますよ。



コーカン市場

食料から衣類まで売っている人気の市場です。

From Myanmar/ミャンマー事務所

現地スタッフの1日

仏教徒が多く、お祝い事をとても大事にするミャンマーの人々。現地スタッフの1日を追います。

経理担当

マイ・ノウ・シュウィ・
イン・ウツさんの
1日に密着

PROFILE

2014年6月に入職。電気技師として働く夫と幼い娘の3人家族。趣味は読書と音楽鑑賞。



市場で肉や野菜を買い、料理の支度をします。

5:30 起床

8:00 朝食

9:00 出勤

業務開始

9:30

金庫からお金を取り出し、支払いの準備。

11:00

支払い用の現金を確認し、何件かの支払いを済ませ、銀行へ。

12:00 昼食

友達とランチへ。

13:30

領収書を確認し、その日の支払い記録を入力。

18:00 夕食

帰宅したら娘の世話をしてから夕食。この日は、ご飯、ポークカレー、野菜炒め、唐辛子の炒め物、ローゼルのスープ。

21:30 就寝

寝る前に本や聖書を読みます。

19:30 自由時間

電話で両親と話します。その後、娘が眠ってしまう前に一緒にお祈りをして、娘のミルクを用意。

社会的弱者や貧困層の支援のためシャンティに
ミャンマーは農業が盛んで、主に米、豆類、ゴマ、ピーナッツ、サトウキビなどを栽培しています。人々の多くは仏教徒ですが、温かい人柄から他の宗教も尊重し、他人にも親切で手厚くもてなします。ミャンマーの女性が顔に塗っている白いダナカは、紫外線から肌を守り、ニキビ予防の効果があるんですよ。
両親は政府職員として働いていましたが、私は利益の追求ではなく社会的弱者や貧困層を支援したいと考え、NGO職員になることを決め、シャンティに入職しました。経理担当として活動を支えています。
休日には家族と一緒に過ごし、娘のために昼食は腕を振るいます。買い物、公園、子どもの遊び場、教会へ行き楽しむことが多いです。

Hot Topics

① 学校校舎を建設中

被災した3校で17の教室を建設中です。校舎は復興庁の耐震基準に準じており、完成は2018年1月末予定。現在子どもたちは、仮設校舎で勉強しているため、校舎の早期完成が望まれています。



② 絵本選定

どんな絵本が子どもたちにとってよい本なのか職員と話し合い、学校に配布する絵本の選定を行っています。ネパール語の絵本出版社を訪ねたり、絵本作家や図書館司書の話を参考にしています。



③ 防災教育研修を実施

地震発生のメカニズムや地震への備え、対処法、学校や地域における防災教育などを学ぶ防災教育研修を実施。この研修を受けて防災教育研修カリキュラムを作成します。

④ 地方選挙の実施

20年ぶりに地方選挙が行われました。連邦制に移行して新しい行政区画を導入してから初の選挙となり、市長・副市長、村長・副村長らが住民たちによって選出されました。



ネパール事務所
事業コーディネーター
西田喜美代 にしだ きみよ

PROFILE

メーカーで4年間勤務した後、青年海外協力隊で2年間ネパールに派遣される。2015年のネパール地震後、シャンティに入職。人生のモットーは「運は縁、縁は人、人は道、道は光」。

地域により多くの人々へ
防災教育を広めていきたい

地震から2年以上が経った現在、ネパールの人々も地震への関心が薄れがちです。しかし、ネパールでは今後さらに大きな地震の可能性があるとされています。場所によっては土砂崩れや洪水などの災害の可能性もあるため、防災教育はとも重要で、子どもや教員だけでなく、親や地域の人々も含め、災害に関する知識を広げていきたいと考えています。

ネパール

From
Nepal

ネパール事務所

ネパール地震から2年。復興に向けて日々奮闘するネパール事務所の活動を紹介します。



日常を取り戻すための
学校建設と図書館活動

現在、ヌワコット郡の3地域で、地震で崩れた3校を建設中です。併せて行っている図書館活動や読み聞かせを通じた子どもたちの心のケアと、学校や地域を対象とした防災教育が主な活動内容となります。図書館活動における絵本選定、防災教育の資料収集、カリキュラム作成、防災芝居の制作を日々行っています。

2015年のネパール地震では、私自身も震災を経験しました。被災後、住民同士で助け合うネパール人の温かさに触れると同時に、地震によって家族や友人、家や学校を失った人々の辛さを目の当たりにしたことで、もっと長期的に復興に携わりたいと考えるようになり、シャンティへの入職へと至りました。

カトマンズ
事務所の中を
のぞき見！



本棚：学校配布用の絵本サンプルや
防災教育資料を収納しています。



玄関：事務所の入り口に
シャンティのミッション・ビ
ジョンを掲示しています。



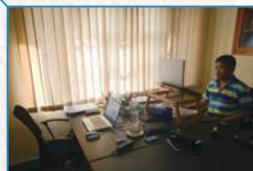
総務・経理オフィス



キッチン&ミーティングスペース



所長室



プロジェクトオフィス



ボダナート

ネパール最大のスツーパー(仏塔)。チベット仏教の主要な巡礼地。



ダルバール広場

旧王宮前広場。地震で被害を受け現在修復作業中。



◀バシュパティナート

ネパールで最大のヒンドゥー教寺院。川沿いには火葬場があります。

From Nepal / ネパール事務所

現地スタッフの1日

125の民族からなるネパール。現地スタッフの日々の暮らしぶりを紹介します！

プロジェクトコーディネーター
アシスタントスタッフ
ナワル バドゥさんの
1日に密着

PROFILE

旅行会社勤務を経て2017年入職。
現在ヌワコット郡にある地元の
パートナーNGOの事務所勤務。



6:00 起床



起床後、1日の準備に取りかかります。

8:00 朝食



この日の朝食は、ダルパートと呼ばれるご飯、野菜、豆のスープの盛り合わせ。

9:00 出勤



パートナーNGOの事務所での朝のミーティング。

教育セクターでの勤務が
とても貴重な経験に

ネパールには125の民族が存在し、民族によって食生活や習慣、お祭りなども様々です。総人口は約3000万人で、国民の多くは農業に従事しています。また、123の地域があり、文化的にも地理的にも多様です。ネパール事務所はシャンティの中で一番新しい海外事務所です。7人のスタッフが勤務しています。事務所のあるカトマンズはネパールの首都で、たくさんの世界遺産があるのも魅力です。私たちは、教員や学校運営委員会と連携して、学校の現状改善に尽くしています。私にとって教育セクターでの勤務は貴重な経験です。

業務開始



10:00 打ち合わせ

郡教育事務所で打ち合わせ。



13:00 ヒアリング

学校運営委員会を訪れ、学校の現状に関してヒアリングします。



12:00 学校でミーティング

校舎を建設中の学校を訪れ、教員や地域住民とミーティング。

18:00 自由時間



仕事の後は泳ぎに行ったり、散歩したり、インターネットをしたり。

20:00 夕食



この日の夕食はロティ(全粒粉を使用したパン)と豆のスープ。



22:30 就寝

シャンティからのお知らせ

九州北部豪雨 福岡県朝倉市での活動終了

2017年7月からの台風3号および梅雨前線による九州北部での大雨被害に遭われた方々の支援のため、職員を福岡県朝倉市杷木地区に派遣し、情報収集を行いました。避難所となっていた小学校では、子どもから高齢者まで、さまざまな世代が共に避難生活を送っていました。断水のため、タンクの水を灯油用のポリバケツでくんで使い、お風呂は近くの無料の温泉を利用していました。必要な物資は届いており、蒸し暑さを癒やす片手で持てる500mlのペットボトルのお茶が喜ばれるなど、刻々と変化する状況に合わせたきめ細やかな支援が課題となりました。避難所が地域で運営できていることが確認できたことから、支援活動を終了しました。今後は避難生活の長期化に備え、引き続き現地の関係機関と情報共有をしていきます。

いわて／みやぎ／ふくしまを走る 移動図書館プロジェクト終了

2017年7月末をもって岩手事務所を閉鎖し、「いわて／みやぎ／ふくしまを走る移動図書館プロジェクト」を終了いたしました。これまで多くの皆様に長きにわたり、ご支援、応援をいただき、心から感謝申し上げます。現在は被災地の図書館の復興状況に合わせ、地元の図書館やお話会などへ活動を引き継いでいます。

人事のお知らせ

●入職

澤井 美奈江
カンボジア事務所 事業コーディネーター (6月1日付)

栗原 陽紀
東京事務所 事業サポート課 海外事業担当 (7月10日付)

浅木 麻梨耶
東京事務所 事業サポート課 海外事業担当 (8月1日付)

森野 めぐみ
東京事務所 経理・総務課 総務担当 (9月1日付)

●退職

吉田 晃子
岩手事務所 図書館活動プログラム担当 (7月31日付)

塚本 真衣子
東京事務所 経理・総務課 総務担当 (9月30日付)

●異動

山室 仁子
ラオス事務所 事業コーディネーターから
東京事務所 支援者リレーションズ課 (7月1日付)

伊藤 杏子
東京事務所 事業サポート課 海外事業担当から
ミャンマー事務所 事業コーディネーター (9月1日付)

嘉味田 倫慧
東京事務所 支援者リレーションズ課から
クラフトエイド課 (9月1日付)

編集後記

約3年ぶりの東京事務所スタッフ紹介、楽しんでいただけましたでしょうか？今回の撮影はフォトジャーナリスト川畑嘉文さんにご協力いただき、普段、写真を撮られることの少ない東京事務所のスタッフもさまざまなポーズに挑戦しました。長年シャンティに勤めているスタッフはもちろん、新しいスタッフもぜひお見知りおきください！
(召田 安宏)

シャンティ 2017年秋号 (通巻292号) | 2017年10月1日発行

発行人：若林恭英
発行所：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
〒160-0015東京都新宿区大塚町31 慈母会館2・3階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
WEB：www.sva.or.jp E-Mail：info@sva.or.jp
編集人：関尚士
編集・制作：株式会社文化工房
印刷：株式会社サンエー印刷

当会へのご寄付は、所得税、住民税、および法人税、相続税の優遇措置が受けられます。
©Shanti Volunteer Association.
「シャンティ」は、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)で印刷しています。

シャンティ国際ボランティア会が、アジアや日本で活動した歴史を振り返ります。

SHANTI HISTORY

SINCE 1981

2014

— 新たな挑戦の年 —

シャンティは困難で弱い立場にいる子どもたちが、未来に希望を持って生きていくために、様々な活動を行っています。今回は、シャンティにとってチャレンジの年となった2014年を振り返ります。

新たな挑戦が始まった2014年。これまでさまざまな国で活動を行ってきたが、新たにミャンマーに事務所が開設された。設立した事務所の体制を整えるとともに、ミャンマーでは初めての取り組みとなる絵本の読み聞かせなどを開始している。この年、新たな挑戦を始めたのは、ミャンマー事務所だけではなく、1991年より支援を続けているカンボジア事務所では、フロンペンのスラムに、読み書きを学べるコミュニティ図書館が開設された。家具や図書配布、視聴覚資料の設備、教材などの提供も支援内容に含まれている。ラオスでは、1992年首都ビエンチャンに開設した事務所に加え、事業対象地があるルアンパバーン県にも事務所を設置した。2事務所体制でよりきめ細やかな事業運営を目指している。

そんな中、被災から3年目の東日本被災者支援活動でも新たな動きが始まっていた。気仙沼事務所では、まちづくり支援のひとつとして、子どもたちが本来持つ「生きる力」を引き出すことを目的とした「あつまれ、浜わらす！」を実施。年間で7プログラムを企画し、成功をおさめた。

いずれも一筋縄にはいかないことばかりだったが、日々奔走するスタッフたち。生まれる環境や境遇は選べないとしても、笑顔で過ごす機会は平等であれ、と願って



気仙沼「あつまれ、浜わらす！」



カンボジア コミュニティ図書館